

安全性 生澤充隆

## 11-9-2 バイソンの胎盤

提出機関: Montana Veterinary Diagnostic Lab

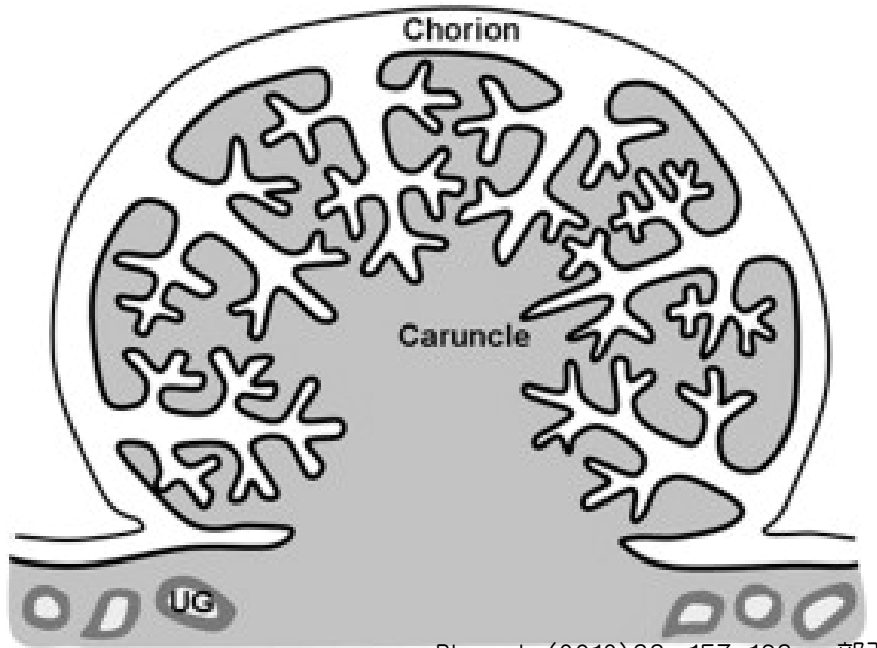
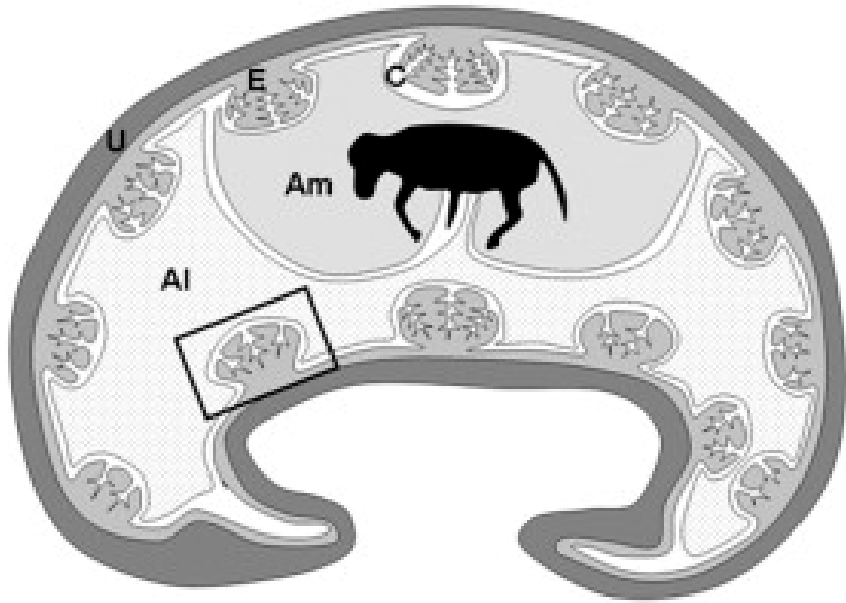


患畜: バイソン (*Bison bison*) 成獣 ♀

病歴: 特記事項なし。流産したバイソンの胎盤が提出された

肉眼所見: 絨毛膜尿膜はび漫性に混濁しており、水腫性、白～ピンク色  
胎盤葉は褐色で散在性に出血

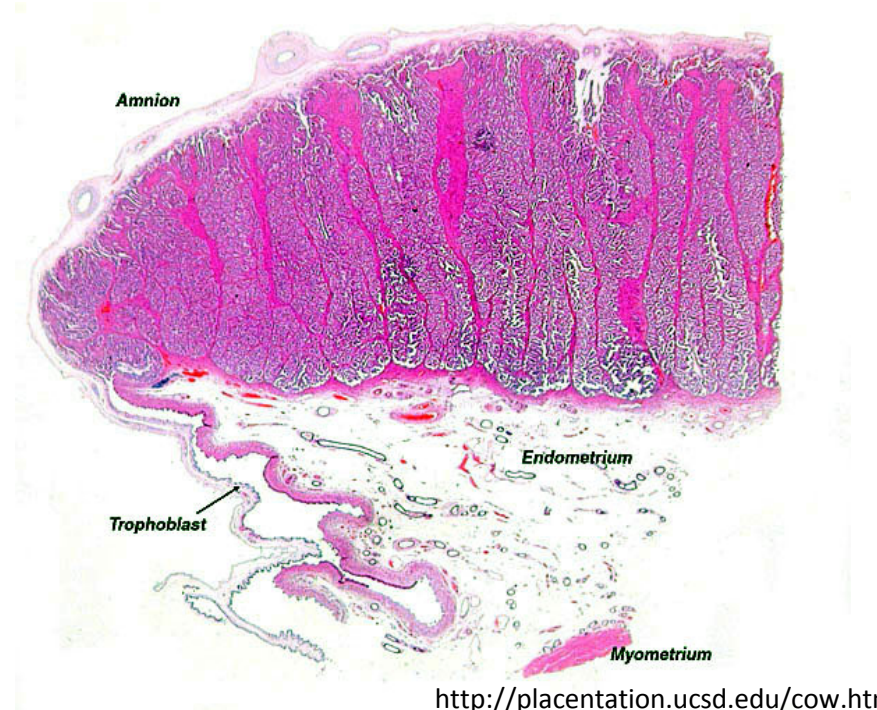
Lab results: *Brucella abortus* の生物型 1 型が胎盤から分離された



Placenta(2012)33: 157-163 一部改編



NIAS Animal Physiology Research Unit

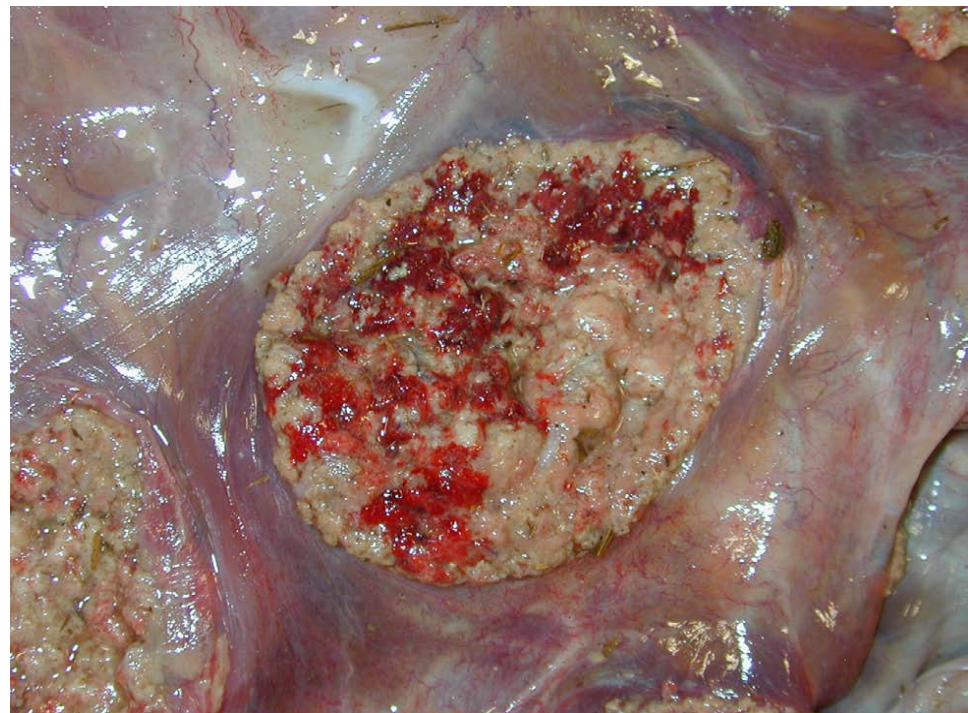


<http://placenta.ucsd.edu/cow.html>

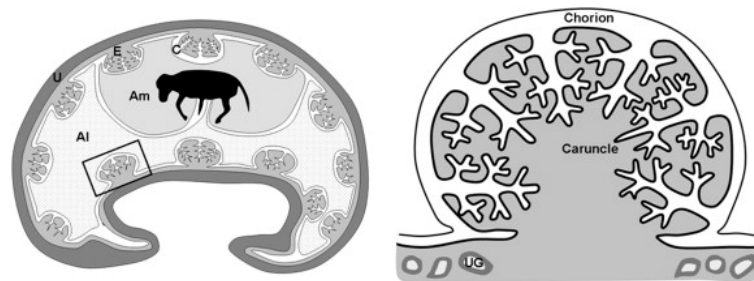
# 肉眼所見

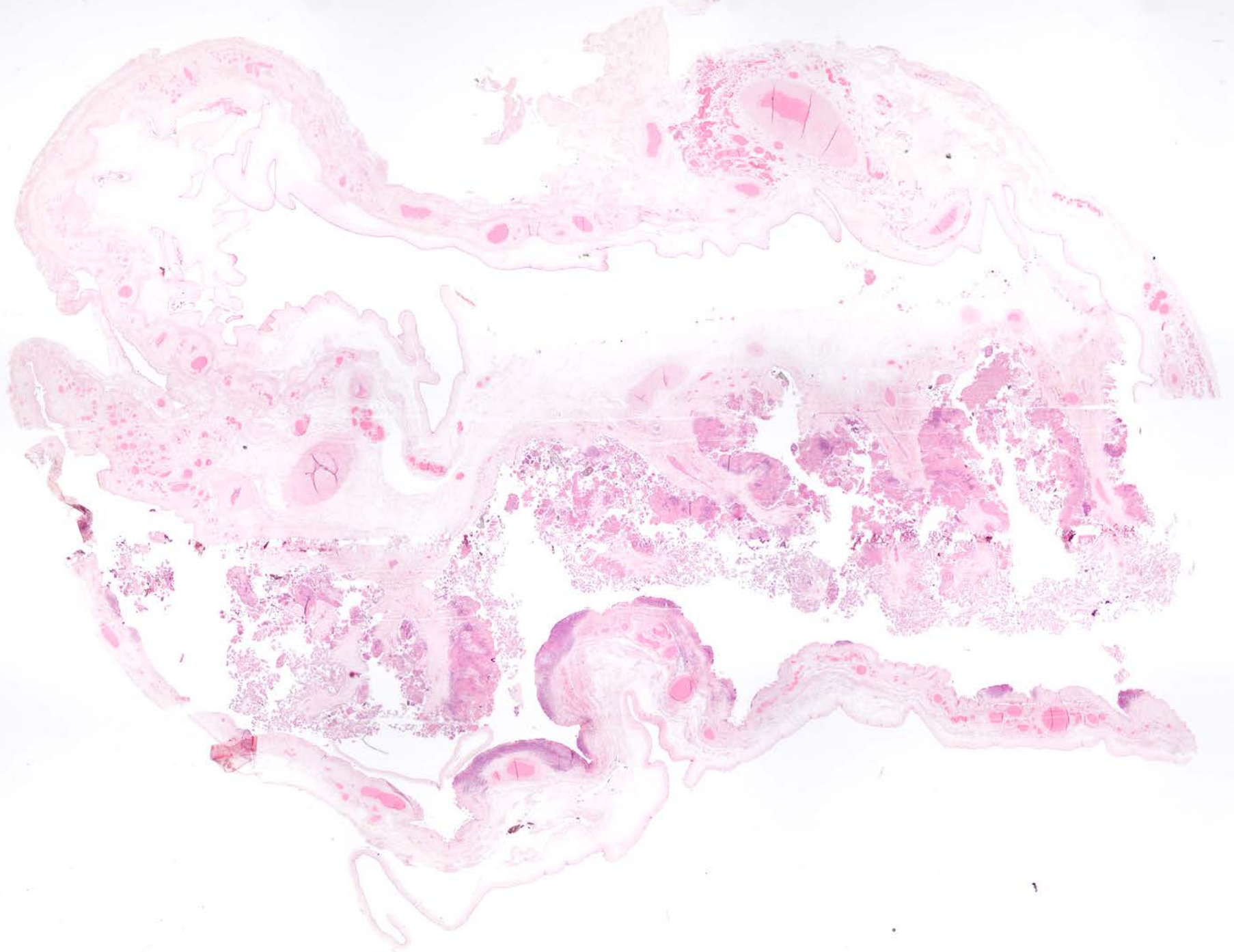


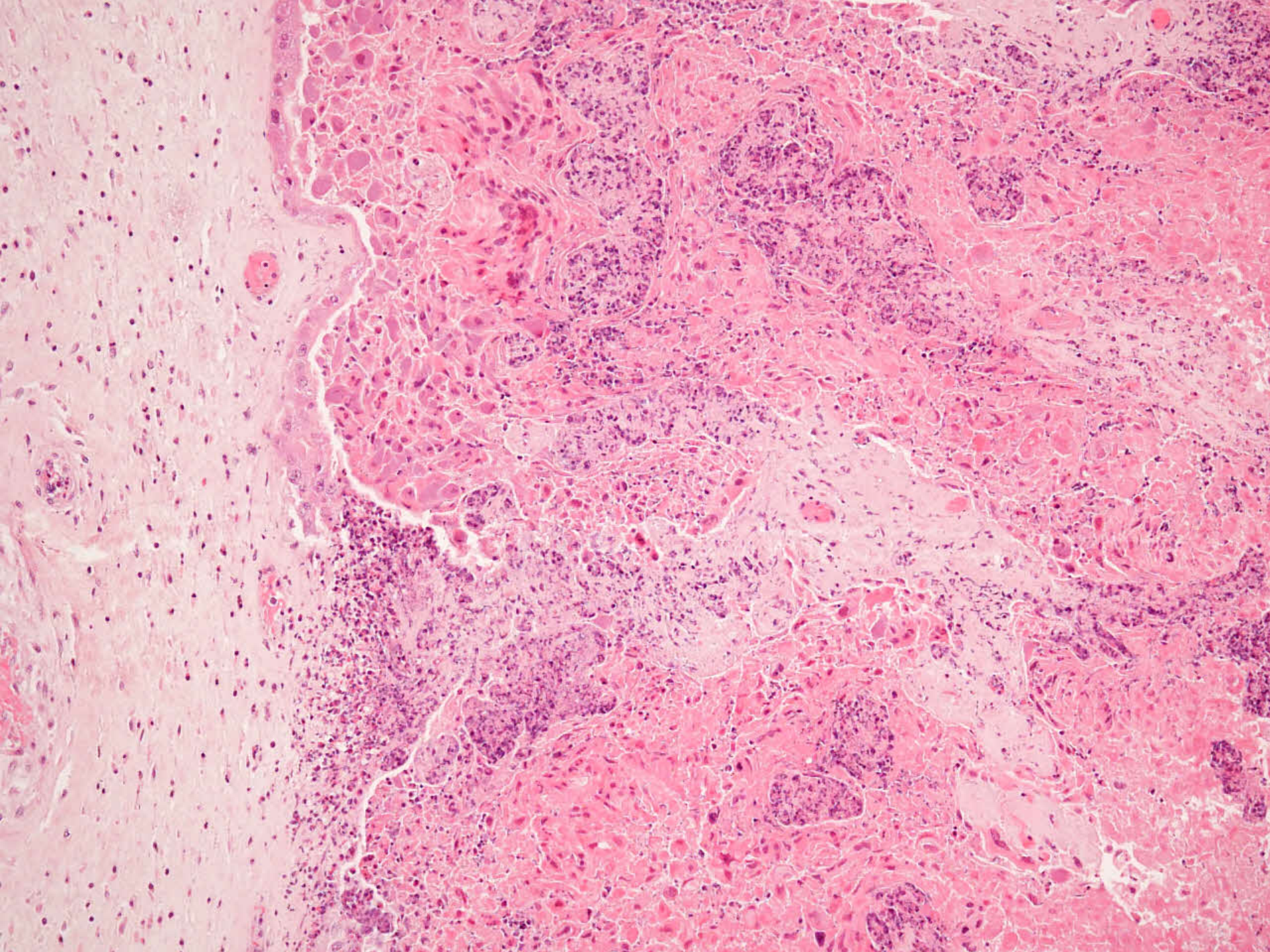
絨毛膜尿膜はび漫性に混濁しており  
水腫性、白～ピンク色

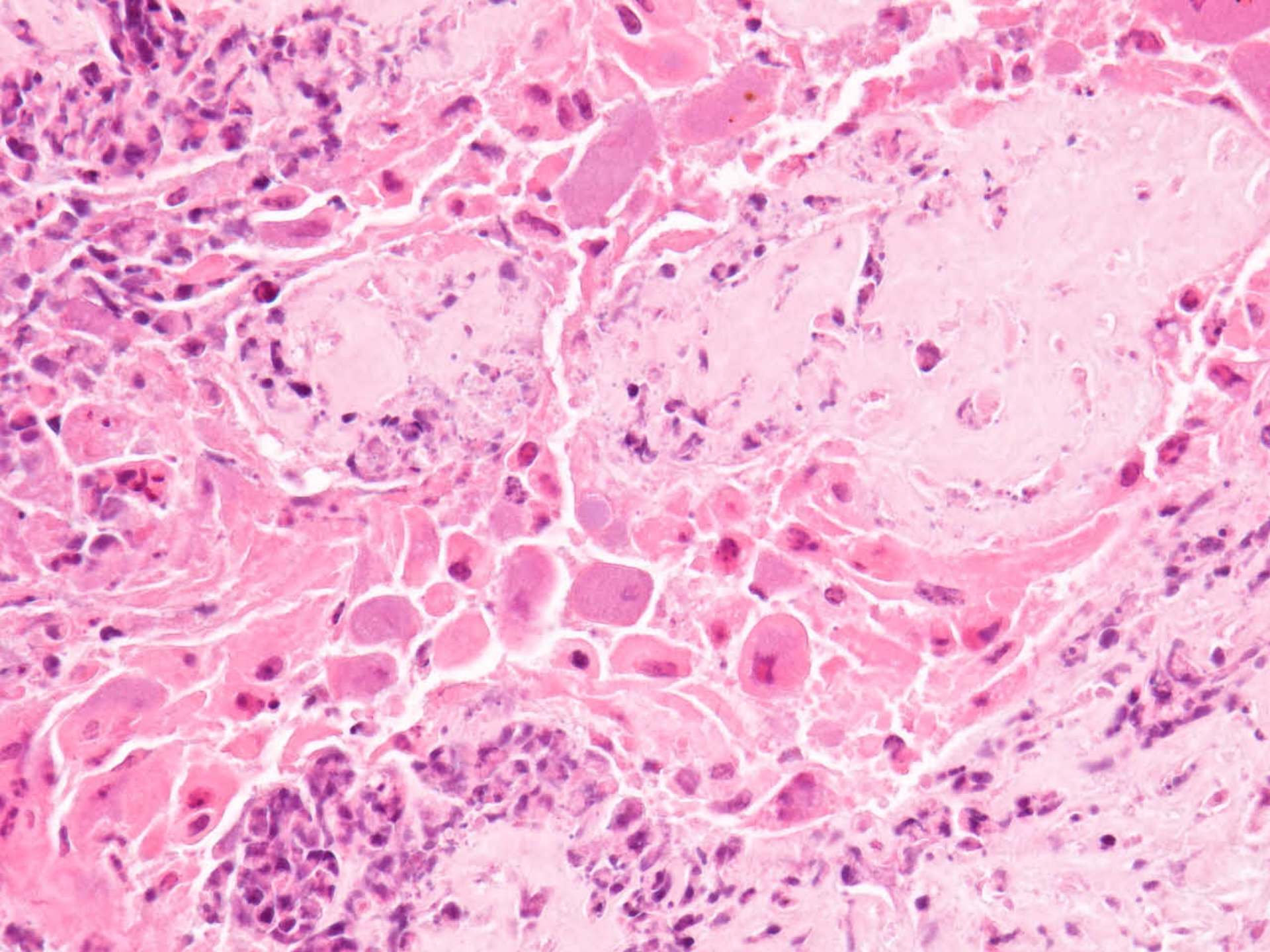


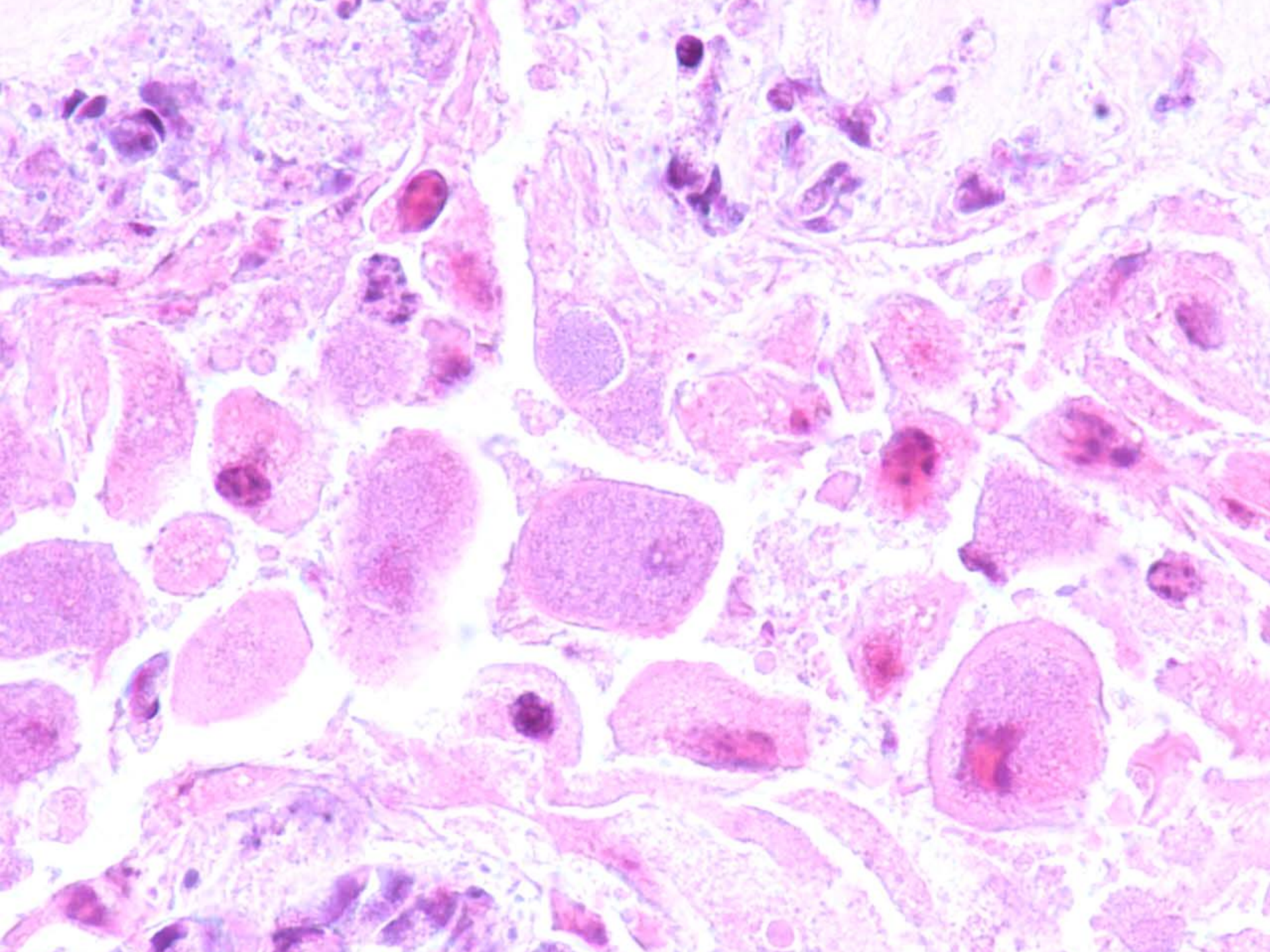
胎盤葉は褐色で散在性に出血

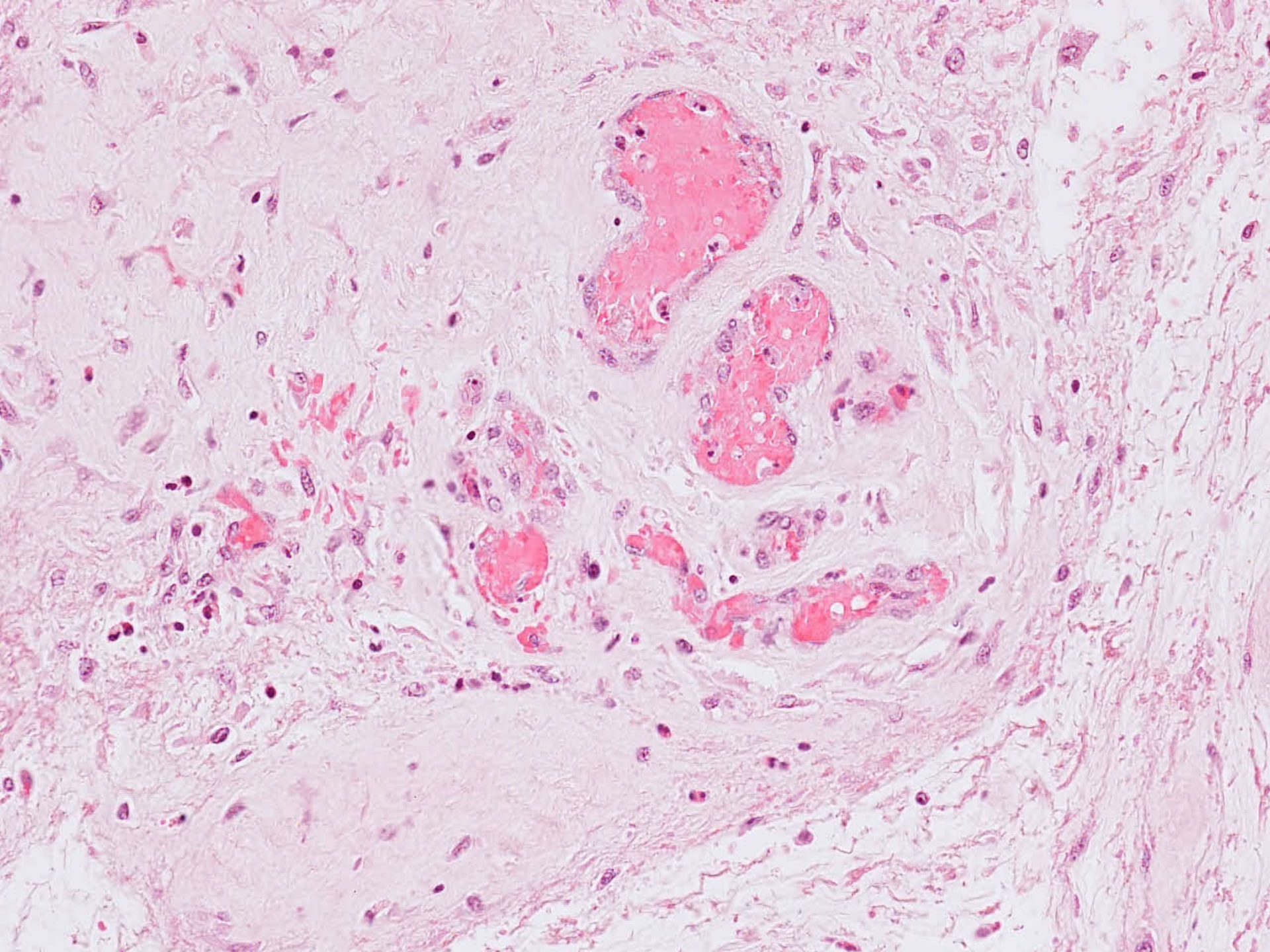














## 【提出者の診断】

胎盤炎、壊死性、急性、多巣性、重度。細胞質内細菌および重度水腫を伴う。絨毛膜尿膜、胎盤。

Placentitis, necrotizing, acute, multifocal, severe, with intracytoplasmic bacteria and severe edema, chorioallantois, placenta.

## 【JPCの診断】

絨毛膜尿膜：胎盤炎、壊死性、多巣性から融合性、中等度。顕著な水腫、びまん性血管炎、多数の栄養膜細胞内桿菌を伴う。

Chorioallantois: Placentitis, necrotizing, multifocal to coalescing, moderate, with marked edema, diffuse vasculitis, and with numerous intratrophoblastic bacilli.

## 【提出者のコメント】

### ・ブルセラ症

通性細胞質内寄生、小型のグラム陰性桿菌であるブルセラ属の細菌によって生じる

*Brucella melitensis* 一菌種のみで、それぞれ菌種とされていた*B. abortus*などは*B. melitensis*の生物型として分類されるということになっているが、異論も多く、従来通りの表記であることが多い。

*B. abortus* には1~9の生物型が報告されており

1型: 全世界

2型: 欧州、北米、アメリカ

3型: インド、エジプト、東アフリカ、

4型: 英国、ドイツ

他の型: まれ

### ・動物におけるブルセラ症

♀ 壊死性胎盤炎、妊娠後期における流産、乳房炎、関節炎

♂ 精巣炎、精巣上体炎、および精嚢腺炎

### ・現在のところ人用のワクチンはない

四類感染症、BSL-3

感染ドーズは種によって様々。免疫が正常なヒトでの、報告のある感染・発症接種量は

*B. melitensis*: 1-10CFU

*B. susi*: 1000-10,000 CFU

*B. abortus*: 100,000 CFU

*B. canis*: 1,000,000 CFU以上

## 【集会でのコメント】

### ・ブルセラ症の伝播

感染個体の組織や乳、尿等の分泌物、胎子、胎盤などへの接触によって生じる

### ・ブルセラ菌は局所マクロファージまたは樹状細胞によって貪食され、細胞内で増殖した後に局所リンパ節へ移動、白血球の移動に伴い全身に広がり、乳腺、生殖器、胎盤および胎子に感染

### ・栄養膜細胞質内で増殖し、流産を起こす主な微生物

#### グラム(-)

*Leptospira interrogans*

*Coxiella burnetti*

*Campylobacter fetus* and *C. jejuni*

*Chlamydophila abortus* and *C. pecorum*

#### グラム(+)

*Listeria monocytogenes*

#### 原虫

*Toxoplasma gondii*, *Neospora caninum*, *Sarcocystis* spp.

### ・胎児の死亡および流産

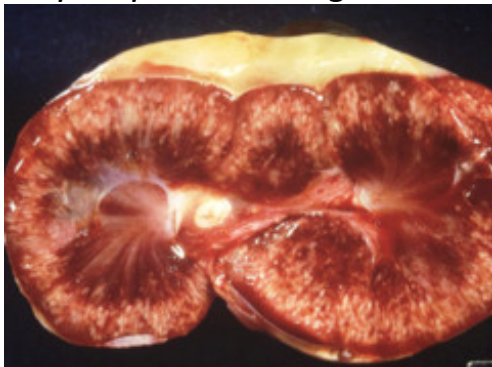
胎盤の破綻、エンドトキシン血症、線維素性気管支肺炎、胸膜炎、心膜炎に起因

### ・胎盤の病変：広範な胎盤葉の壊死、革様の表面、宮阜の壊死および炎症

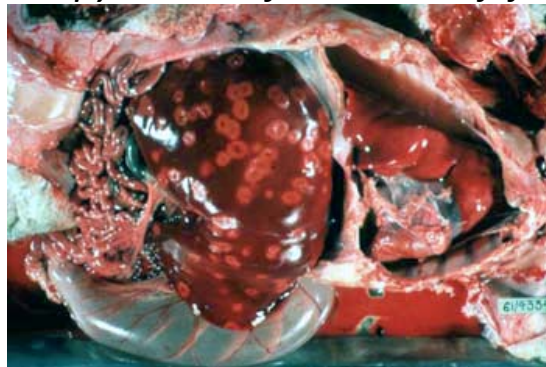
## 【集会でのコメント】

- ・栄養膜細胞質内で増殖し、流産を起こす主な微生物  
グラム(-)

*Leptospira interrogans*



*Campylobacter fetus* and *C. jejuni*

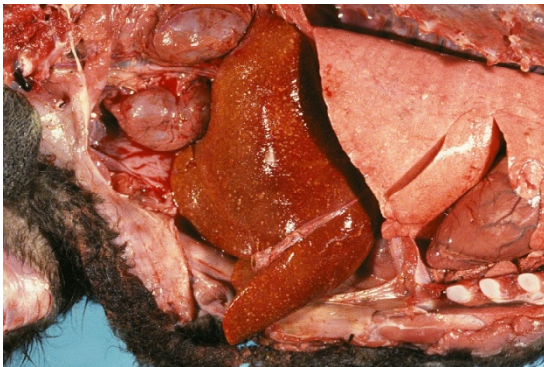


特徴的病変といえども、必発  
ではなく、程度も様々

*Coxiella burnetti*, *Chlamydomphila abortus* and *C. pecorum*

グラム(+)

*Listeria monocytogenes*



鑑別診断を頭に種々の臓器  
の採材を！

原虫

*Toxoplasma gondii*, *Neospora caninum*, *Sarcocystis* spp.

## 【集会でのコメント】

### ・ブルセラ症の伝播

感染個体の組織や乳、尿等の分泌物、胎子、胎盤などへの接触によって生じる

### ・ブルセラ菌は局所マクロファージまたは樹状細胞によって貪食され、細胞内で増殖した後に局所リンパ節へ移動、白血球の移動に伴い全身に広がり、乳腺、生殖器、胎盤および胎子に感染

### ・栄養膜細胞質内で増殖し、流産を起こす主な微生物

#### グラム(-)

*Leptospira interrogans*

*Coxiella burnetti*

*Campylobacter fetus* and *C. jejuni*

*Chlamydophila abortus* and *C. pecorum*

#### グラム(+)

*Listeria monocytogenes*

#### 原虫

*Toxoplasma gondii*, *Neospora caninum*, *Sarcocystis* spp.

### ・胎児の死亡および流産

胎盤の破綻、エンドトキシン血症、線維素性気管支肺炎、胸膜炎、心膜炎に起因

### ・胎盤の病変：広範な胎盤葉の壊死、革様の表面、宮阜の壊死および炎症